

【評価実施概要】

事業所番号	170400782		
法人名	(有)オフィス石井		
事業所名	メイハウス グループホーム		
所在地	〒063-0022 札幌市西区平和2条6丁目1-5 (電話) 671-7732		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成21年3月16日	評価確定日	平成21年4月6日

【情報提供票より】(平成21年2月24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 5 月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤	7人, 非常勤 4人, 常勤換算 1.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造2階建て造り		
	2階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	水光熱費19,000円
敷金	(有)( 90,000 円)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,167 円		

(4) 利用者の概要(平成21年2月24日現在)

利用者人数	8名	男性	0名	女性	8名
要介護1	1	要介護2	4		
要介護3	2	要介護4	1		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 82.6 歳	最低	76 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	後藤田医院 宮の森病院 伊藤歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは手稲山麓の閑静な住宅地に位置している。近隣にはスーパー、商店があり生活環境に恵まれている。建物はグループホームとして建築されており、手摺やエレベーターの設置、バリアフリー等利用者の安全に配慮された造りになっている。ホームの広い敷地内ではガーデニングを楽しむことができる。管理者はじめ職員は利用者の尊厳を大切にして、質の高いケアを実践している。利用者の表情は明るい。医師や看護師、職員の連携体制もしっかりしており終末期の看取りに対応している。法人は高齢者マンションや関連施設を同地域に有しており、ホームは安心して暮らせる高齢者福祉の地域の拠点として信頼され期待されている。

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の課題であった地域との交流については、町内会行事への参加、近隣の公園への散歩や地域スーパーの利用等で自然な形で行なわれている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価、外部評価の意義や重要性を認識しており、自己評価は全職員参加で作成している。会議では評価結果を協議検討してケアに活かすようになっている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2カ月に1度定期的開催され記録されている。包括支援センター職員、町内会長、農協支店長、郵便局長、利用者家族、施設関係者等地域に於ける各方面からの参加があり、ホーム運営内容や行事報告がなされ、活発に協議されている。会議で討議された内容は運営に活かされるように取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>定期的に「たより」を発行してホームの生活状況を伝えている。介護計画書は家族の承認印をもらっている。入居時には公的苦情機関や苦情窓口の案内をしており、意見箱を設置している。個々の家族には手紙や電話連絡、ホーム来訪時の会話等を通して家族の意見や要望を把握し、意見が運営に反映するようになっている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し祭りや行事などに参加している。管理者が長年築いた地域との関係からも日常的に自然な交流が行なわれている。法人経営の隣接する高齢者マンションの人々との交流や連携が今後期待されている。</p>

## 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に根ざしたグループホームとして家庭的な環境の中で地域の人々と交流し、利用者の尊厳や人権を大切にする独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホーム内に掲示し、会議等で確認している。職員の心がまえを明示し、職員全員で理念に基づいたケアを行なうように取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会行事やお祭りに積極的に参加している。法人ではホームに隣接して高齢者マンションや関連施設を経営している。管理者が築いている地域での信頼関係を基に、交流は日常的に行なわれている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価の重要性を認識しており、職員全員参加で自己評価の作成にあたっている。会議において評価結果を協議してケアに活かすように行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は定期的開催され、記録されている。地域代表者、郵便局、農協、家族、ホーム関係者等の参加があり、ホーム運営や行事報告がなされ協議されている。協議検討された内容はサービス向上に活かすよう努めている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市とは定期の連絡会で相互の意見交換が行われている。それ以外にも適宜連絡をとりあっている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「ホーム便り」を発行して利用者のホームでの暮らしぶりや行事、職員異動を伝えている。1か月に1度手紙を出しており、金銭管理については明細書を送っている。家族面会時には利用者の近況報告を行なっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に苦情箱を設置しており、苦情相談窓口や公的苦情申し立て機関を明示している。家族来訪時には意見、要望を聞き、家族の意見が運営に反映するようになっている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職がすすまないようになっているが、異動の場合は補佐を増員する等してフォローできるように配慮している。職員の異動は「ホーム便り」や手紙等で家族に報告している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム内研修を日々の会議などの機会を捉えて行っており、職員一人ひとりの専門性向上の為外部研修を進めるように行っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム管理者の集まりや管理者会議に参加し、情報交換を行いサービスの質の向上をはかっている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に職員が家庭訪問したり、利用者、家族がホーム見学を行なう等して、互いに理解を深めてからサービスが開始されるように配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者との思いを共感し、一緒に食材を購入したり、調理や後片付け等を行なっている。人生の先輩として尊敬の念をもち共に支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの希望や意向の把握に努め、家族の意見や本人の体調に配慮しながら、できるだけ希望に沿えるようにして行なっている。</p>		
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の意見や要望を聞き、ケアマネジャーを中心に関係者の意見を含めてスタッフ全員で話し合いを行ない介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の見直しは会議で定期的に行ない、介護計画書は家族の了承を得るようにサインで確認をとっている。特変事が生じたり、介護計画にずれが生じた場合は、利用者や家族の意見要望を考慮して関係者と話し合い、適宜見直しをはかるように行なっている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>かかりつけ医への通院支援や送迎等利用者の状況に応じて随時柔軟な支援を行ない個々の満足が得られるように支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院の往診や、看護師の配置があり日常の健康管理がなされている。利用者希望のかかりつけ医への通院や投薬支援も行なわれ、常に適切な医療が受けられるようになっている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方を事前に本人、家族、医師、看護師、関係者、職員全員と話し合い互いに確認している。終末期の看取りの経験を有している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの性格を把握し、プライドを傷つけないような言葉かけや対応に注意した支援がなされ、個人情報や書類管理は適切に行なわれている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ホームとして基本的な1日の流れはあるが、体調に配慮しながら一人ひとりの意思や希望、ペースを尊重して個別性のある支援が行なわれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりの希望や力に応じて、食事の準備、後片付け等を職員と共に行ない、テーブルを囲み食事しながら歓談している。食事が1日の大切な活動と楽しみの場となるよう支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めてはいるが、一人ひとりの希望やタイミング、体調に合わせて随時対応できるように行なっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴を考慮し、希望や意向を大切に身体状況に配慮しながら役割や楽しみごとができるように支援している。(食事作り、後片付け、掃除、買い物、ガーデニング、畑作業、ドライブ等)		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩や公園に出かける等戸外に出かけられるよう行なっている。ドライブを兼ねて買い物に行くこともあり、一人ひとりの体調や希望に沿って支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関は施錠していない。玄関に人が出入りすると感知するセンサーの設置があり利用者の動きに配慮している。2階廊下には遠隔カメラの設置があり廊下の様子が事務所に映像として送られ安全に配慮がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署指導のもと避難訓練が行なわれている。火災受信機、非常警報装置、煙探知機の設置があり、消火器具も整備している。職員間の非常時連絡体制は整っており、地域との連携もなされている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの水分摂取量や食事摂取量を記録し確認している。不足している場合は必要量が確保されるように工夫して行っている。献立は職員全員で行ない、医師の確認を得ている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間の窓辺には鉢植えの花が飾られ、手作りのカレンダーが壁に掛けられている。室内は広くゆとりがあり「札幌市福祉の町づくりバリアフリー整備基準」の適合を受けて利用者の安全に配慮されている。換気・温湿度の管理も適切で居心地よく環境整備されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は収納場所もありほど良い広さがある。窓やカーテン壁の色使いの調和もよく、穏やかな雰囲気があり、使い馴れた家具が持ち込まれ居心地良く過ごせるように工夫している。		

 は、重点項目。